

生産性向上人材育成支援センターでは、

中小企業等におけるDX人材の育成

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「**DX対応コース**」を選定し、中小企業・事業主団体等の“**DX人材の育成**”を支援しています。

を支援しています！



DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。

また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域

3つの課題

DX推進に向けたスタートコース

DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい
⇒【バックオフィス分野】DXの推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース

社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい
⇒【倫理・セキュリティ分野】脅威情報とセキュリティ対策

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応コース

自社業務に適切なITツールを選定したい
⇒【バックオフィス分野】ITツールを活用した業務改善

業務プロセスの課題への対応コース

システム化に伴うコストの考え方を知りたい
⇒【バックオフィス分野】失敗しない社内システム導入

ビジネスモデルの課題への対応コース

IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい
⇒【組織マネジメント分野】IoTを活用したビジネスモデル

受講対象者

事業主の指示を受けた在職者の方

訓練日数・時間

おおむね1～5日（4～30時間）

受講料（1人あたり・税込）

2,200円～6,600円

訓練会場

自社会議室等を訓練会場とすること
が可能ですが（講師を派遣します）



訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート

相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

訓練受講

所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～



生産性センターHP